サフラン便り

第３１号　２０年2月１５日発行

発行:佐賀県薬剤師会女性薬部会
佐賀市本庄町大字本庄 1269-1
TEL:0952-23-8931
FAX:0952-23-8941
http://www8.ocn.ne.jp/~saffron/

生涯学習について

＜生涯学習の考え方＞

★　薬剤師の資質の維持と向上を！

1、学習効率・教育効率の向上と責務

・　研修者到達（学習）目標の明示

一般目標	到達目標	Lv
生命の尊厳を再認識する為に医療人としての倫理観と責任感を身につける	A, 医療倫理の歴史を理解する	1
	B, 人の誕生、成長、加齢、死の意味を考察し討議する	1
	C, 医療の担い手が守るべき倫理規範を説明できる	1
	D, 救命救急の意義を説明できる	2
	E, 医療に関わる倫理的問題を列挙しその概略と問題点を説明できる	3
	F, 誕生に関わる倫理的問題の概略と問題点を説明できる	4

2、生涯学習の支援体制充実の責務

3、帰結自己責任の原則

抜粋：１月２６日県薬剤師会生涯学習講演より
職場の「余剰薬剤師」とならないために
（日本薬剤師会生涯学習委員　岡山大学　合葉哲也先生）

＜平成２０年度「診療ガイドライン・薬剤コース」について＞

今年度より、演習問題の添削方法などしくみが大きく変わりました。

- 医学部教授、薬学部教授の監修により解剖学、病理学を交えた内容の充実
- テキストの冊数：８冊　　・スクーリング講座：年１回
- 発送方法：日本女性薬剤師会本部が発送
- 演習問題：毎回、各々の受講者が直接日女本部に送り、日女本部で「添削」し、解答と一緒に翌月のテキスト送付時に同封して返送。研修者の到達(学習)目標の明示
- 日本薬剤師研修センターより付与取得単位：１０単位＋α（毎月の添削とスクーリング出席が条件）

（病院薬剤師の先生方もご参加お待ちしています。）

＜「育薬セミナー・BASIC」キックオフセミナー開催概要＞

「現場から離れていたが早く復帰したい！」、「仕事のミスが多く、減らしたい！」、「育薬セミナーをもっと理解したい！」「基礎から知りたいけど聞くに聞けない！」「楽しみながら学びたい！」 という要望に応えるべく、東京大学と NPO 法人 DLM センターが、開講されます。

・日時: 平成 20 年 3 月 8 日（土）　17 時～19 時　(予定)
・場所: 福岡市薬剤師会館（福岡県福岡市中央区今泉１丁目１-１）
・参加費 :無料
・対象者: 薬剤師資格を有する方
（※ もう一度勉強したい、現場に復帰したい方を対象とします）
★基調講演「本プログラムを開始するにあたって」
東京大学大学院情報学環・薬学系研究科　教授 澤田康文氏
★「育薬セミナー・BASIC」プレセミナー

（１９年度後期スクーリング研修会）

- ３月２日（日）9:00～15:10
- 県薬２階研修ホール
- 講義内容
（結核、逆流性食道炎、乳癌、腰痛症、高脂血症）
- 会費１０００円（ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ受講者）
２０００円（その他の会員）

＜今年の抱負＞

＊　子年の今年は、「移動セミナー」に邁進する覚悟です。小回りを利かせて前向きに動くのみです。県薬の皆様のご協力に感謝しながら、ひとつずつこなしていきたいと思っています。　（委員長　宮地和子）

＊ 信頼される「かかりつけ薬剤師」になるための情報交換の場として今年は日本女性薬剤師会の「移動セミナー」が佐賀で開催されます。ご協力よろしくお願いします。　（佐賀市郡支部　田中須磨代）

＊ 本年は、女性薬にとって最大のイベントが催されます。精一杯務めさせていただきます。

（佐賀市郡支部　　島田智子）

＊ フォゴットンジャパンといわれる今こそグローバルな視野で、適性なメディカルケア に勤めたいと思います。

（鳥栖三養基支部　　徳渕昭代）

＊　いつもプラス志向を心掛け、自分にできる仕事を計画的にやりたいです。今年も宜しくお願いします。

（神埼支部　　宇野由紀子）

＊　無理せず、焦らず、できれば楽しく私にも協力できることがあれば良いのですが。

（唐津東松浦支部　杉岡祐子）

＊ 本年度は、仕事と育児、家事の両立に加え、ボランティア支援に協力したく、ステップアップという意味で、「飛躍」を目標に　邁進したいと思います。　（武雄杵島支部　江口しずか）

＊　今年は仕事と家庭の両立をもっとうまく出来るよう努力し、女性薬の活動に参加していきたいと思います。

(伊万里有田支部　古荘祐子)

＊　今年も仕事と家庭の両立にあたふたしながら、頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

（鹿島藤津支部　山口弥生）

＊　誰にも公平に誕生日は巡ってきて、毎年一つ年をとっていきます。私たち団塊の世代は還暦を迎えます。私たちは日本の高度成長とともに育ち、働き、家庭や地域で生活をしてきました。混迷しているこの社会、若い薬剤師の方々と共に、先輩薬剤師の方々の話を聞く機会となる県薬史の事業に関われることに、幸せを感じています。

(女性理事　北島悦子)

＜移動セミナースタッフ募集＞

　いよいよ「移動セミナー」（9月１３日～１５日）の企画も具体化してまいりました。今回の「日本女性薬剤師会移動セミナー」を会員数も少ない佐賀県で開催できる事は光栄であり、佐賀県薬剤師会の協力体制のもと女性薬部会一丸となって是非成功させたいと思っております。それには皆様の協力なしには進められません。全国からみえる薬剤師の方に満足していただける為にも、できるだけ多くの方のご支援が必要です。

　つきましては、３月２日(日)の「ガイドライン　スクーリング研修会」終了後、観光、懇親会、セミナー、展示等の企画説明会を行います。一人でも多くの方に手を挙げていただき、スタッフとしても全国の女性薬剤師と交流を深め、情報交換をすることにより、資質向上と活性化になれば幸いです。

　自他推薦をお願いいたしますとともに、各支部の女性理事からも、お声かけをさせていただきます。よろしくお願いいたします。きっと良い思い出にならんことを願っています。

ちょっと一言

　男性の患者さんの一言にヒヤリハットした事があった。「ここは、男性向けの雑誌が無いね」と。確かに待合室にある物は女性と子供用ばかりだ。言い訳をさせてもらうと、薬局のスタッフは全員女性で、それには気が付いていなかった。その一言から、待っていて下さる方の性別や年齢、立場など調剤業務とは別の角度からみた気配り心配りの大切さを教えてもらった。解かっているつもりの年代になっても、まだまだ課題が満載のようです。

それが、幸せというものなのかも・・・・。　（島田）